

11月1日(水)  
申込み開始

HCD-Net認定

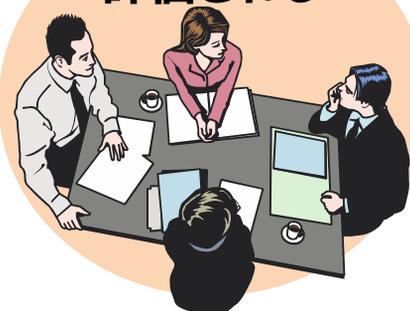
# 人間中心設計専門家 人間中心設計スペシャリスト

人間中心設計(HCD)	ユーザビリティ	ユーザエクスペリエンス	デザイン
ユーザインタフェース	サービスデザイン	インタラクション	情報アーキテクチャ など...

専門性を  
証明できる



社内・社外で  
評価される



キャリアアップ  
になる



NPO法人 人間中心設計推進機構(HCD-Net)では、ハードウェアやシステム開発、ウェブ制作、研究、教育などで人間中心設計(HCD)を実践している方へ「人間中心設計専門家」「人間中心設計スペシャリスト」を認定しています。合計で、これまで約1900名が認定され、現場で活躍しています。今年も、多くの方の受験をお待ちしております。

## 人間中心設計専門家

資格概要

人間中心設計の実務能力と、マネジメント能力を合わせた、統合的な専門家

受験資格

人間中心設計・ユーザビリティ関連の実務経験

**5年**以上

想定受験者

人間中心設計を主業務とする方、研究者、組織への普及をするマネジメントの方

## 人間中心設計スペシャリスト

資格概要

人間中心設計の基本的な実務能力をもつ実務担当者

受験資格

人間中心設計・ユーザビリティ関連の実務経験

**2年**以上

想定受験者

人間中心設計が主業務で5年未満の方や、デザイナーやエンジニアなどで兼務の方

受験申込み	2023年11月1日(水)~2023年11月21日(火)16:59まで 合格発表は2024年3月末予定	
受験者説明会	2023年11月13日(月)19:00~20:30 オンラインで開催 詳細・申込みはウェブサイトを参照	
受験資格	人間中心設計専門家	人間中心設計・ユーザビリティ関連の実務経験5年以上 (大学院在学中の実務活動は実務経験年数に含む) 専門能力を実証する実践事例が3つ以上あること
	人間中心設計スペシャリスト	人間中心設計・ユーザビリティ関連の実務経験2年以上 (大学院在学中の実務活動は実務経験年数に含む) 専門能力を実証する実践事例が3つ以上あること
試験方法	【書類審査】受験者が過去に取り組んだ人間中心設計の活動を申請書に記入し、その記述内容によって審査	
受験料	人間中心設計専門家・人間中心設計スペシャリストとも 12,000円(消費税10%込)	
取得時費用	人間中心設計専門家	認定登録料 18,000円 維持費 12,000円/年(維持費はHCD-Net会員は無料) 更新料 5,000円(3年ごとに更新) ※費用はすべて消費税10%込
	人間中心設計スペシャリスト	認定登録料: 11,000円 維持費: 3000円/年(維持費はHCD-Net会員は無料) 更新料 5,000円(3年ごとに更新) ※費用はすべて消費税10%込

※掲載内容は取材時点のものです。現在と内容が異なる場合があります

## Webの活用で、HCD専門家の必要性は高まる

私はデザイナーからキャリアをスタートし、現在はディレクター・プロジェクトマネージャーとして企業WEBサイトの構築にあたっています。

実務の中で、成果物の価値向上に繋がることを経験として理解、吸収、活用してはいましたが、HCDの専門的な教育は特に受けておらず、今回の応募の際には、果たして自分が「専門家」に該当するのか自信が持てませんでした。しかし、HCDプロセスを取り入れてプロジェクトを設計し、運営していく役割が今後重要になると考え、また自分のこれまでの経験を体系立て

て理解し、さらに深められるのではないかという期待があり今回の受験に至りました。

企業におけるWebの活用は年々その範囲を広げ、解決課題の難易度もあがっており、HCD専門家の必要性は高まるものと思います。

これから多くの専門家が生まれ、より一層HCDの考え方が世の中に浸透することを望みますし、私自身も可能な限り認知・啓蒙に協力したいと思います。

株式会社コンセント 大岡 旨成さん

## ユーザー視点のデザイン設計で商業的な価値を生む

日本IBMに入社して以来、パソコンやアプリケーションの製品にまつわるデザインや、販促物などマーケティング資料のデザインなどを経験してきました。

特に製品開発にまつわるデザインではUCD (User Centered Design) の手法を学び、それを活かしたデザイン支援をさまざまなプロジェクトで行ってきましたが、そうした自分のスキルを職種としてどう表現するかは常に悩ましい問題でした。

特にここ数年でお客様へのサービス支援が中心となり、自分のスキルをどう差別化して説明できるかが大きな課題であると

痛感していました。

そんな中でHCD-Netの資格認定のお話は、お客様にデザインには単に美しく整えるというだけでなく、ユーザー視点でのデザイン設計をすることで商業的な価値を生むということを認識いただき、それがきちんと社会的にも認定されたデザイナーに支援を依頼することで実現できる、という安心感と確かな価値を感じていただく一つの手段として非常に有効であると期待しました。

日本アイ・ビー・エム株式会社 藤枝 久美子さん

## 専門家としての自負が高まり、堂々と発言できるようになった

現在私は、モバイル情報端末のUI企画開発を行っている現場で、外部アドバイザーとしてHCDの取り組みを行っています。

それまで経験してきた受託業務の立場とは異なり、ものづくりの現場では、プロジェクト内におけるHCD業務を計画通り遂行することよりも、専門家として、最大限の効果が得られるようなHCD導入プランの提案が求められます。そこでは、プロジェクト単体としてだけでなく、他プロジェクトとの連携や商品構成も考慮しなければなりませんし、社内特有の事情もわきまえておかなければなりません。

このとき専門家には、状況に応じた幅広い洞察力やコミュニケーション能力が必要です。しかし状況が複雑なほど、テクニカルなHCDノウハウだけでは、自信を持って提案を口にできないことがありました。それが資格を得てからは、専門家としての自負が高まり、業務マネジメントも含めて堂々と発言できるようになったという経緯があります。

今後は、より一層の多様化が見込まれる現場の状況に応えていく中で、資格自体の価値向上に貢献できればと考えています。

株式会社 U'eyes Design 森 瑞穂さん

受験、応募要領、認定制度に関する情報

# HCD-Net 認定資格 Webサイト

<https://www.hcdnet.org/certified/>



認定者の声、  
紹介中です